

### Good Luck(グッドラック)

アレックス・ロピラ、  
フェルナンド・トリアス・デ・ペス (共著)  
田内 志文 (翻訳)  
出版社 ポプラ社

#### 目次

- ・セントラルパークでの再会
- ・運命をわけたクローバーの物語  
森へ  
新しい土  
湖  
木  
小石  
地  
暗闇  
風と雨  
芽
- ・この物語は、あなたに続く
- ・あとがき



#### 経営やコンサルティングのヒント を与えてくれる良書

推薦者 理事・経営士 坂上 哲也

54年ぶりに少年時代の親友と再会した二人の男の物語を紹介します。

一人は、貧乏な家庭に育ち学校にも行けずに少年の頃より働き始めたが、22歳で経営者となり事業を拡大させ、今では2,000人の従業員を抱えるまでになった男。もう一人は、祖父が残した業績好調な会社を父が他界したことによって継ぐことになったが、自分の代になってからは業績が悪化してしまい、仕事も財産も全てを失い、今ではすっかり落ちぶれてしまった男。後者の男は「運がなかった」と嘆く。前者の男は祖父から、遺産は残してくれなかったが、「運は呼び込むことも引き留めることもできないが、幸運は自らの手で作り出せば永遠に尽きることはない」と「運と幸運の違い」を教えてくれたという。

そして、祖父から聞かされた「魅惑の森」の話

を後者の男に語るのだが、その内容は我々コンサルタントにとっても、経営者にとっても、様々な気付きを与えてくれることでしょう。

この不況下において、業績が悪化し経営が立ち行かなくなっている企業が多い中、業績を伸ばしている企業も存在しているのも事実です。

現在私は、数社のインターネット通販を行う小規模企業のインターネットマーケティングについて支援を行っていますが、それぞれの企業の業績は両極端となっています。同じような業種で、同じような規模で、同じような内容のものを提供しているのも関わらず、業績が伸びている企業とそうでない企業とに分かれてしまうのは、我々コンサルタントを生業とする者にとっても例外ではありません。

上手く行っているのにはそれなりの理由があり、たまたまや偶然ではないのだということを改めて思い知らされ、本書は経営やコンサルティングのヒントも与えてくれる良書だと思います。

以上



#### <推薦者プロフィール>

- ・イーメイド有限会社 代表取締役
- ・日本経営士協会 理事・経営士
- ・二級建築士
- ・専門業界：小売業、サービス業、飲食業
- ・専門分野：Web戦略、Webマーケティング、情報セキュリティ、Webショップ経営、店舗経営、店舗内外装設計